

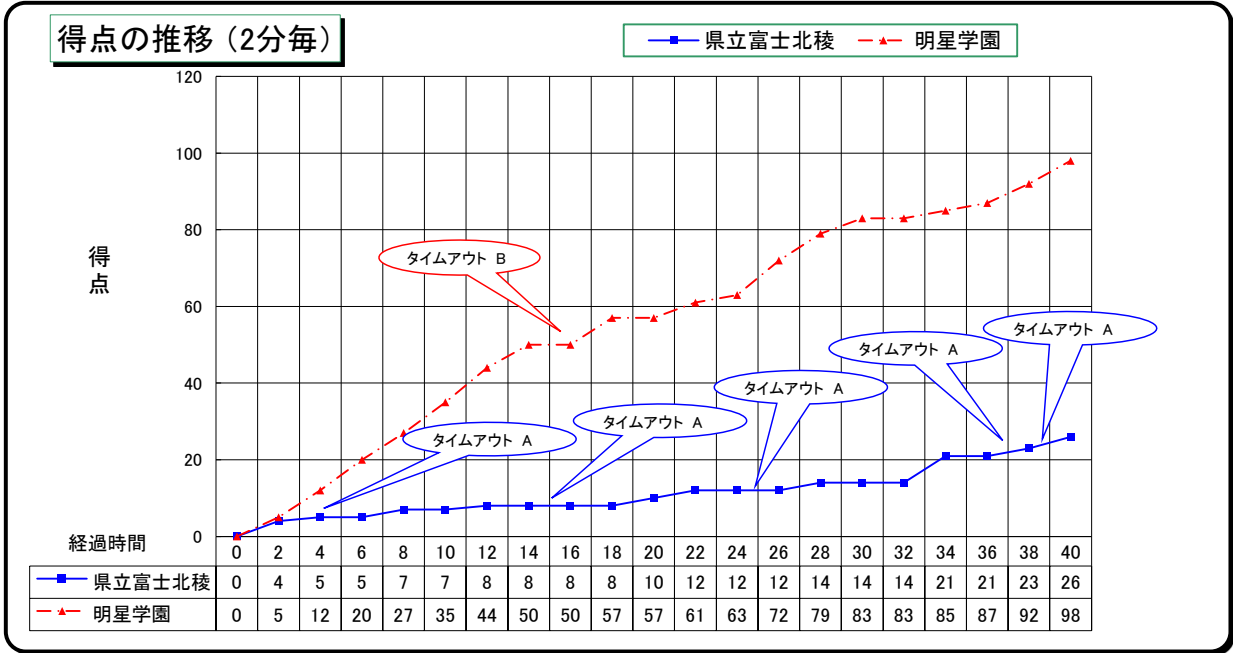
平成23年度 第22回 関東高等学校バスケットボール新人大会
【女子】＜1回戦＞

平成24年 2月11日(土)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会1日目	Cコート	第3試合 12:00～
<チームA> 県立富士北稜 山 梨	26 { 7 1Q 35 3 2Q 22 4 3Q 26 12 4Q 15 } 98		<チームB> 明星学園 東 京	
主審: 武藤 陽子(茨) 副審: 石井 美由紀(茨)				

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	太田 千尋	6		1	4	
○	5	羽田 百絵					1
◎	6	小佐野菜菜	1			1	4
◎	7	遠藤 絢子	8	1	2	1	4
◎	8	大谷亜利紗					2
○	9	勝俣 真季	5	1	1		
◎	10	羽田佳奈絵	2		1		3
○	11	柏木 春香	2		1		1
◎	12	宮下 真菜					
○	13	小林 奈央	2			2	1
○	14	勝俣 奈保					
	15	宮下 葉奈					
	13	高部 優美					
	14	渡邊 千晶					
	15	堀内 紫月					
コーチ 望月 哲							
合計			26	2	6	8	16

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	平松 飛鳥	6	1	1	1	
◎	5	立山 果奈	15	3	2	2	1
◎	6	水野 菜穂	7		3	1	2
◎	7	王 昕	19		9	1	1
◎	8	鈴木 梨菜	12		6		2
○	9	本多なるみ	4		1	2	1
○	10	川野 舞	8		4		2
○	11	宮下 早紀	6		2	2	2
○	12	島田 莉帆	2		1		3
○	13	指宿 真里					1
○	14	岡庭 好美	7	1	1	2	
○	15	星 亜矢乃	2		1		1
○	16	伊神 好花	3	1			
○	17	市川 理穂	7	1	1	2	1
○	18	野口 紗希					
コーチ 椎名 真一							
合計			98	7	32	13	17

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



戦 評	記入者: 中山 徹也
第1P、富士北稜がハーフコートマンツーマン、明星学園はオールコートマンツーマンでスタート。立ち上がりは互角の展開。明星⑧鈴木が速攻を決めれば、北稜は⑦遠藤の3pで応戦。3分過ぎに明星が⑧鈴木のスティーリングからの速攻で5-9とリードしたところで北稜がタイムアウト。反撃を窺うものの、その後は、明星の一方向的展開。④平松、⑤立山の連続3pを皮切りに7分過ぎまで相手の得点を許さぬまま14連続得点(5-23)。ディフェンスが機能し、北稜にシュートすら許さない。その後も北稜は3-2ゾーンを交えたチェンジングディフェンスを見せるが明星を抑えられず、得点もフリースローが決まるのみ。結局、7-35明星リードで第1Pを終了。 第2P、北稜は引き続きマンツーマンと3-2ゾーンのチェンジングで対応を図るが、明星はインサイドの⑦王にボールを集め、これを攻略する。劣勢になった北稜は、明星のプレスディフェンスを突破できず、無理なシュートやミスが強いられ、明星に次々と速攻を決められてしまう。このピリオドの北稜の得点を僅か3点に抑えた明星が10-57と大差をつけ前半を終了。早々と試合の大勢を決めた。 第3P、劣勢の中、諦めず果敢にプレーする北稜。しかし明星は1対1をきっちり守り、隙を見せない。北稜がバスプレーで明星のプレスの突破を試みれば、明星が体を張ったボディチェックでこれを阻止。明星はサブメンバーを次々と使うが決して緩まず、素晴らしいディフェンスを続ける。流れが北稜に傾くことなく、14-83明星リードで第3Pを終了。 第4P、中盤からようやくフィールドゴールを決められるようになった北稜だが、流れを引き寄せるまでには至らない。第3Pまでと同様、隙のない試合運びで終始相手を圧倒した明星学園が、26-98の大差で勝利。強豪ひしめく東京代表の貫録を見せた。得点差は開いたが、最後までベストプレーを貫いた富士北稜の選手たちにも拍手を送りたい。	